鵜殿のヨシ原で、１年に今だけ体験、
ヨシを刈って集めてヨシ原を育ててみませんか

冬は意外に暖かい！太陽の光りを浴びて体を動かすのは楽しいな！
ヨシ原焼きができるようヨシを刈って集めます。立ち枯れが残るとできません。
昨年カヤネズミ、イタチに出会いました。空にはチュウヒ、ハヤブサ、ハイタカ。
ご参加の方には記念に鵜殿のヨシ紙をプレゼント。一緒にヨシ原を育てませんか。

・日程：2010 年１月２３日（土）10－15 時
・場所：鵜殿のヨシ原。（大阪府高槻市）
・集合：午前１０時、国土交通省山崎出張所。
（高槻市上牧町４－５５－１）
・募集：小学生から一般（小学生は保護者同伴で）
・参加費：無料　　・雨天中止（当日８時に決定）
・持ち物：軍手、マスク、タオル、昼食、水筒、雨具
・服装：運動靴（底が厚めものが良い）。
（湿地ではないので底の薄い長靴は不向き）
重ね着（気温にあわせて調整）。
・講師：小山弘道氏（鵜殿ヨシ原研究所所長）
鵜殿の調査・保全活動を市民と３３年間。
・お申込：１月２０日（水）までにお申込みください
・問合せ、申込み先
①河川レンジャー　谷岡寿和子 メール
ｕｄｏｎｏ@ａｒｅｓ．ｅｏｎｅｔ．ｎｅ．ｊｐ
電　話　０９０－３９９１－１６４６（当日のお問合せは谷岡の電話へお願いします）
②河川レンジャー中央流域センター
電話　０７２(８６１)６８０１
（平日９時～１７時）
http://www.river-ranger.jp/
・最寄り駅：阪急電車京都線「上牧駅」徒歩２０分。電車の高架を通り１７１号線を渡る。金光中学高校前の用水路に沿って淀川方面へ。堤防の上の建物が集合場所の「山崎出張所」（駐車場は有りません）。
・主催：淀川管内河川レンジャー
原田修一、谷岡寿和子
・協力：東都島エコクラブ、鵜殿ヨシ原研究所、鵜殿クラブ





ヨシを刈ってヨシ原焼き、ヨシはこんなに育ちます！

・支援：国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

ヨシ刈りの場所について　・○山崎出張所（集合場所）

１.□（赤色）切り下げ地　２.□（青色）導水路沿い　２班に分かれて行います。



下流←淀川←上流　　航空写真 2009 年 4 月 19 日撮影、淀川河川事務所提供

1.□(赤色)切り下げ地(平成 14 年度施工)

切り下げ工事は平成１２年から平成２１年まで数ヶ所行われています。
各々の工法は異なります。淀川に面しているかいないか、切り下げる高さ、
ヨシの地下茎を含んだ土を入れるかどうか、表土を戻すかどうかなど。
この場所は高さＯＰ５m、ヨシの地下茎を含んだ土を置きました。
ここ数年毎年刈り取って、ヨシはヨシ紙などに利用し、残ったオギやツル草は
ヨシ原焼きで焼きます。自然と人が育てた経年の成長、美しいヨシ群落です。



撮影：2009/11/27
黒川史明

2. □(黄色)導水路沿い

ヨシを刈って、来年のヨシを育ててみませんか。畑のようにヨシ原は世話をすると変わります。ヨシが増え大きく育ちます。その広がりと大きさはとても嬉しいです！

（１）火曜日の調査　つる草を抜き続けてヨシを育てた場所



撮影：
上 2009/11/27
下 2009/12/06
黒川史明

（２）鵜殿クラブ、淀川河川レンジャー調査区



つる草抜き、刈り
09/11/13 撮影



元々ヨシが生えていた場所ですが、地下茎と土を別の場所に移植したのでその後はオギが占めました。昨年から２年間つる草やオギを抜きヨシを育てました。今年は導水路から水を入れました。昨年に比べて大きく変わりました。向こうが見通せないくらいヨシ

が増えたのです。太さも大きくなっています。
来年が楽しみです。

鵜殿通信2010年１月号

～夢・水辺を創る～ 鵜殿のヨシ原　　鵜殿クラブ会報　通算１３６号

◆チュウヒ 091022、ハヤブサ（指定席の送電鉄塔）091206　共に秋間佐恵子氏撮影



ヨシ原から飛び上がった「**チュウヒ**」
カワラヒワが慌てて飛び出しました。



「**ハヤブサ**」鵜殿では赤白の送電鉄塔に
とまって餌を探しています。

◆よく育ったヨシ群落　091206 黒川史明氏撮影



鵜殿のヨシの特徴
大きさ：４～５ｍ
図鑑でヨシは２～３ｍとある。
太くて肉厚で、堅い。

ユネスコの無形文化遺産に
指定された「雅楽」の音を
支えている。
楽器「ひちりき」に最適とさ
れ、宮内庁、神宮、神社、雅
楽演奏家に愛用されている。

鵜殿ヨシ原研究所、鵜殿クラブ　連絡先はいずれも下記

〒569-0011 高槻市道鵜町４-１２-５　TEL.090-3991-1646　FAX.072-891-4751
メール ｕｄｏｎｏ@ａｒｅｓ．ｅｏｎｅｔ．ｎｅ．ｊｐ